



「車いすバスケットボール」

第1時

作成: 藤田 武士 (茨城県立協和特別支援学校)

1 本時のねらい

パラスポーツについて知る

2 本時の展開例

指導内容

導入

1 パラスポーツについて

- パラスポーツという言葉を知っているか問いかける (パラリンピックと置き換えてもよい)

展開

2 パラスポーツとして取り組まれているスポーツを書き出す

- 自分が知っているパラスポーツをできるだけたくさん付箋に書き出す。
※知っているパラスポーツが無い(少ない)場合には、パラスポーツとして行われていそうなスポーツを書き出してもよい。

3 深める

- グループもしくはクラス全体で、模造紙やホワイトボード、黒板等に付箋を種目毎に貼り付け、グルーピングしてみる。
- 貼り出されたパラスポーツの中からいくつかピックアップし、ルールや道具、大会などについて調べてみる。

終末

4 共有する

- 調べた内容について発表する。
※発表の仕方は、全体に向けてやポスター発表形式など実状に応じて選択する。
- 最後に、課題について話をする。
学校や家庭で、NHK for school「ブレイカーズ」の1話から4話を、次の授業までに視聴してくるよう伝え、次の時間には1話から4話のテーマについて考えることも伝える。
※各々の学校や家庭の実情に応じて、学校でPCやタブレット端末をいつでも使えるようにするなど、全員が視聴しておける環境を可能な限り整える。

NHK Eテレ「ブレイカーズ」

限界という壁を壊して突き進む存在こそがパラアスリート!

それぞれの障害を強みに変えて、“可能性の扉”を開いていく者たちのアツイストーリーです。

パラスポーツってすごい!楽しい!カッコいい!

多様なパラスポーツの魅力を、アニメならではのダイナミックな表現で描いていきます。

番組は、車いすバスケ・パラ陸上・ゴールボール・パラ水泳の4つのシリーズで構成。

各シリーズの最終話にはアニメ主人公のモデルとなった実在のパラアスリートたちを紹介し、パラスポーツへの共感、理解を深めます。

<https://www.nhk.or.jp/sougou/breakers/>





1 本時のねらい

1～4話を視聴し、それぞれの「テーマ」を考える

2 本時の展開例

指導内容

導入

1 ブレイカーズについて振り返る

- 1話から4話までを簡単に振り返る。
※視聴してきた児童に簡単にあらすじを説明(解説)をしてもらってもよい。

展開

2 各話の「テーマ」について考える

- 視聴した中で、重要だと思った場面やキーワードを付箋などに各自でメモをする。
※この活動は、課題として事前に番組を視聴をした際に、視聴したあとに行ってもよいか考える。
この部分は、授業時数など学校の実状に合わせて調整する。
- 取ったメモを元に、グループで「テーマ」について話し合い活動をする。

予想されるキーワード

第1話 / 出会い、あこがれ、新たな、違うバスケットボール など

第2話 / 壁、現実、気づき、チャレンジ、挑戦 など

第3話 / 努力、ライバル、自分だけの武器や技、新たな壁、試練 など

第4話 / 特訓、自分を知る、可能性、あきらめない、自信 など

※必要に応じて、タブレット端末などを用意しておき、動画を見返すことができるようにする。

終末

3 共有する

- グループで考えたテーマを、その理由を含めて共有する。
共有する際、各グループが「テーマ」とともに「その理由」について発表する。
- 1話～4話の「テーマ」を、1枚のワークシートにまとめ、1話から4話のつながりについてもう一度考えてみる。修正を加えることも考えられる。



このワークシートが、次の時間の登場人物の心情を読み取る際の参考になると思われる。



「車いすバスケットボール」 第3～4(4～5)時

作成: 藤田 武士 (茨城県立協和特別支援学校)

1 本時のねらい

登場人物の心情を読み取ってみよう

2 本時の題材の例

登場人物の心情を読み取り、自分事として考えてみる

ここでは、各話において「こういった場面を取り上げるとよいのでは?」という例を提示します。
児童の実態、第1時や第2時で児童から出てきたキーワードに応じて、
取り上げる内容を精選して授業を展開してみてください。

【例】

第1話 憧れの兄

兄の様になりたい ▶ でもうまく出来ない ▶ 兄の言葉をどう受け止めたか?
うまくできない海に自分だったらどんな言葉を掛けるか?

第2話 車いすバスケットに出会った海

早く走れない ▶ どんな気持ち? ▶ その気持ちから抜け出すきっかけは?

第3話 ボールを使った練習に参加できるようになった海

ボールが手に付かない ▶ どんな気持ち? ▶ 抜け出すきっかけは?

アドバイスがあった! …母の言葉、練の言葉

▶ どんなアドバイス? ▶ アドバイスによって連の気持ちがどう変わったか?

第4話 試合で相手チームにやり込められる

相手チームの徹底的なマーク ▶ 「限界じゃないのか?」という言葉

限界とは? ▶ 海を感じる限界と相手を感じている限界
各々が感じる限界について考える

▶ 海の気持ち…「限界は俺が決める」 ▶ なぜそう思えたのか?

まとめ① 練の最後の言葉「この試合…海の勝ちだ!」

▶ この言葉の意味は? …なぜ練がそう言ったのかを考えてみる。

まとめ② 「開け可能性の扉を!」

▶ この言葉の意味は? …「可能性」や「扉」とは何かについて考えてみる。

まとめ③ 鳥海選手の言葉についても考えてみる

▶ 「どうしたら出来るか前向きに考える」、「どんなに厳しい状況でも楽しむ」

※「自分自身だったら」という視点を取り入れて学習活動を進めることで、海や練の立場を、自分自身に置き換えて考えることを仕始めるのではないかと考える。



「車いすバスケットボール」 第5～6 (6～7)時

作成: 藤田 武士 (茨城県立協和特別支援学校)

学校や地域の実状に応じて、2パターンの案を提示します。

車いすバスケットボールにフォーカス

1 本時のねらい

パラスポーツについて考える・調べる

2 本時の展開例

指導内容

- 車いすバスケットボールについて調べてみる。
 - ▶ ルールや歴史、競技の説明、東京パラリンピックでの実施状況 など
- 実際に体験できる環境が整えば、体験したり、選手から話を聞いたりする。
※日本車いすバスケットボール連盟のいすバスプロジェクトを活用しても可
- 調べたことを、タブレット端末を活用し、ニュース番組風、もしくはドキュメント番組風に動画でまとめてみる (学びのアウトプット、ICTの活用)。
※作成した動画は、広く多くの方に見ていただく機会を設定する。

パラスポーツ全般にフォーカス

1 本時のねらい

パラスポーツについて考える・調べる

2 本時の展開例

指導内容

- パラスポーツについてグループ学習で調べ学習をする。
 - 予想される活動例**
 - 車いすバスケットについてより深く調べる。
 - 地域のパラスポーツについて調べる。
 - 他のパラスポーツについて調べる。
 - 市役所に行ってパラスポーツについて聞く。
 - パラスポーツ団体に来てもらう。
 - ハンディキャップを克服した地域の方と触れ合う。
- 調べたことをそれぞれのグループごとにまとめ、他のグループと共有する。